



機械受注統計調査報告

Machinery Orders

令和3年1～3月見通し

Forecast for Jan. - Mar. 2021



令和3年2月

February 2021

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics

Economic and Social Research Institute

Cabinet Office, Government of Japan

(調 査 の 概 要)

機械受注見通し調査は、機械製造業者の受注する設備用機械について、四半期ごとに翌期の受注見通し等を調査したものである。調査対象は「機械受注実績調査」の対象となっている主要な機械製造業者、また調査時点は毎四半期末であり、今回調査の見通し時点はおおむね2020（令和2）年12月下旬と推定される。

1987（昭和62）年7～9月見通し調査より、調査対象社数を178社から280社に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月より、機種分類の「電子・通信機械」に含まれていた「携帯電話」を調査対象から外した。

(使 用 上 の 注 意)

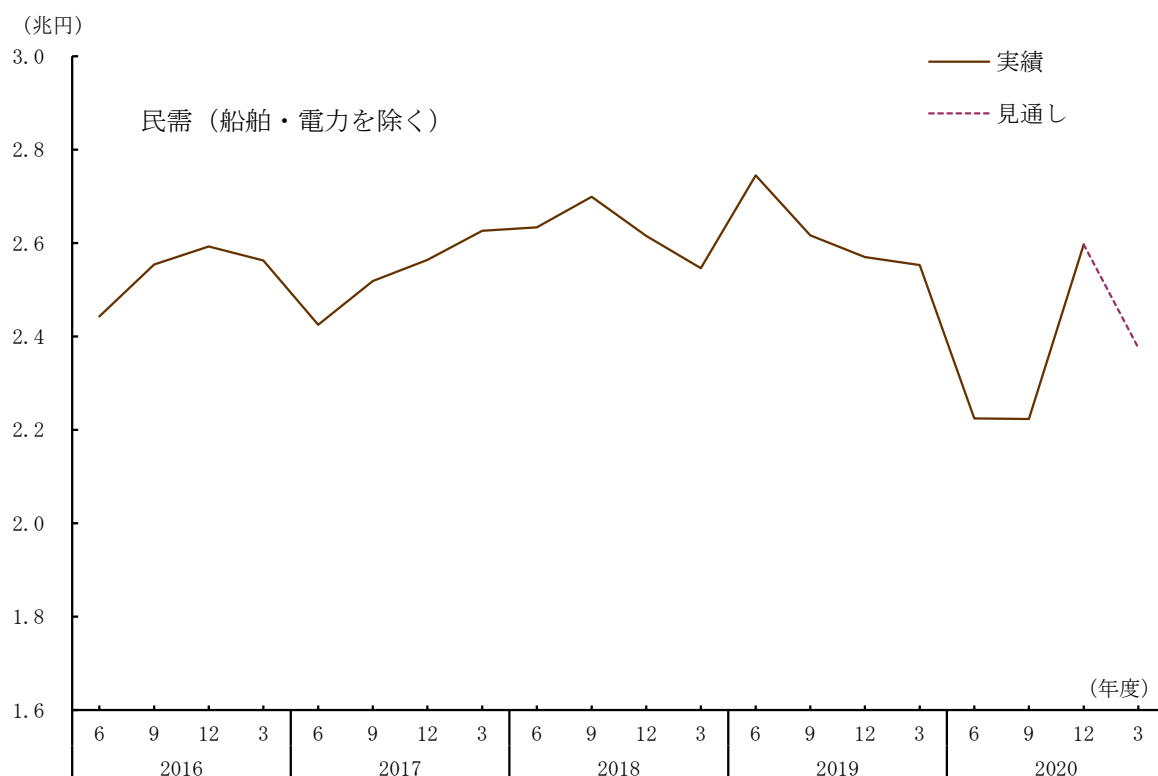
- 1．1989（平成元）年4～6月実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 2．本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。

2021（令和3）年1～3月の機械受注見通し

1. 集計結果の概要

- (1) 2021年1～3月の機械受注見通し額について、調査対象企業の見通しを集計したところ、受注総額で7兆6,278億円、前年同期の実績に対し3.7%の減少、「船舶・電力を除く民需」で2兆7,908億円、同1.2%の増加という結果になった。
- (2) これに最近における「達成率」を乗じると、受注総額で前年同期に対し4.9%減、「船舶・電力を除く民需」で同5.5%減の見通しとなった。
- (3) 季節調整値により、前期（2020（令和2）年10～12月）の実績に対する比率を見ると、受注総額で4.8%減、「船舶・電力を除く民需」で8.5%減の見通しとなった。

第1図 受注額の実績と見通し（季節調整系列）



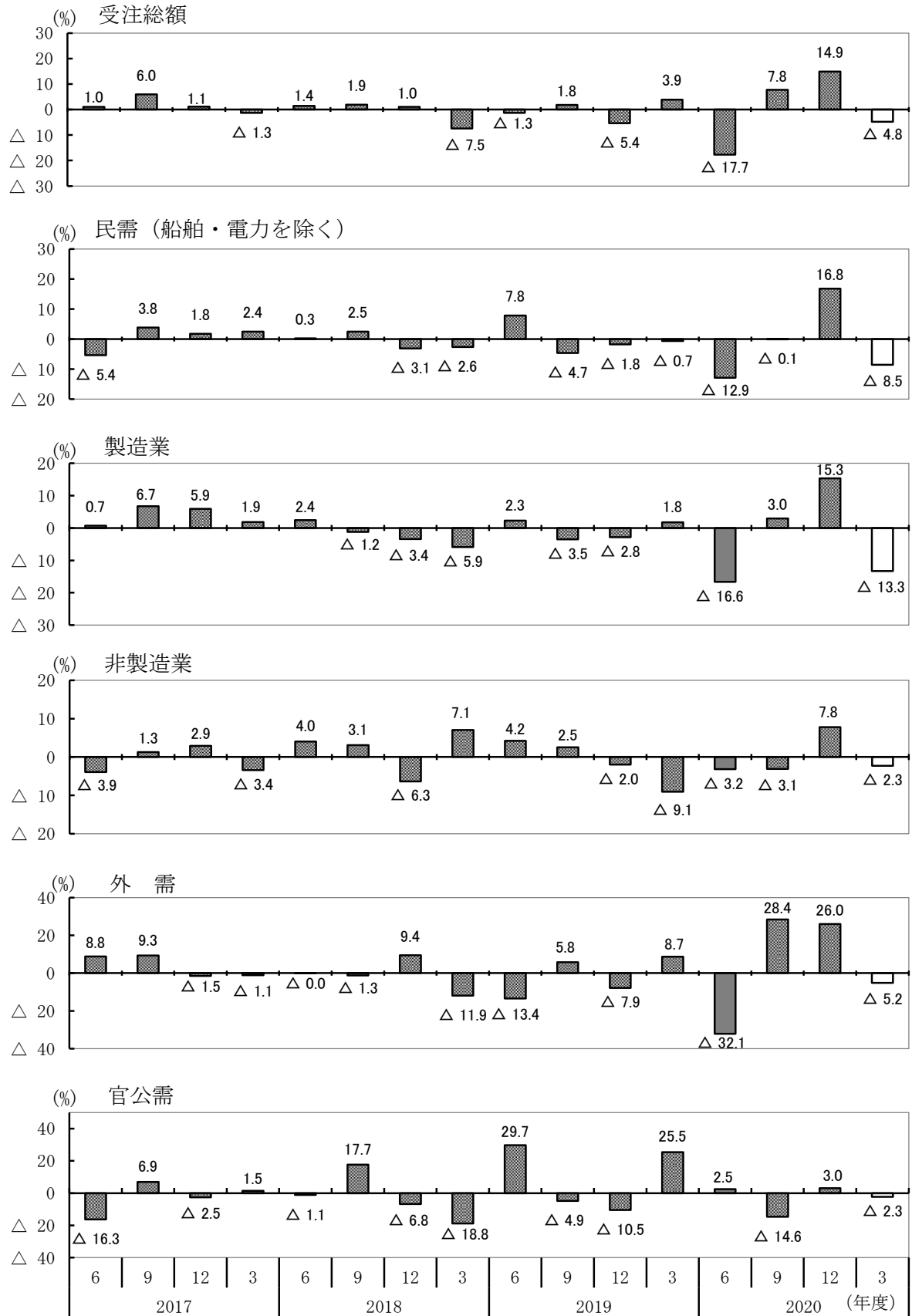
第1表 需要者別見通し額（季節調整系列）

（単位：100万円，％）

需要者		期	2020年 (令和2年) 4～6月 実績	7～9月 実績	10～12月 実績	2021年 (令和3年) 1～3月 見通し
実 数	受注総額		5,678,770	6,121,200	7,032,828	6,696,129
	民需		2,734,655	2,787,859	2,952,279	2,805,816
	(船舶を除く)	(2,698,968)	(2,666,102)	(3,007,396)	(2,768,062)
	(船舶・電力を除く)	(2,224,262)	(2,223,080)	(2,596,958)	(2,375,211)
	製造業		914,765	941,803	1,086,129	941,608
	非製造業		1,830,027	1,773,416	1,911,330	1,868,176
	(船舶・電力を除く)	(1,312,964)	(1,280,598)	(1,527,585)	(1,424,434)
	官公需		933,949	797,587	821,583	802,985
	外需		1,790,748	2,298,714	2,896,935	2,747,166
	代理店		297,235	301,846	321,157	346,861
前 期 比	受注総額		△ 17.7	7.8	14.9	△ 4.8
	民需		△ 8.4	1.9	5.9	△ 5.0
	(船舶を除く)	(△ 6.3)	(△ 1.2)	(12.8)	(△ 8.0)
	(船舶・電力を除く)	(△ 12.9)	(△ 0.1)	(16.8)	(△ 8.5)
	製造業		△ 16.6	3.0	15.3	△ 13.3
	非製造業		△ 3.2	△ 3.1	7.8	△ 2.3
	(船舶・電力を除く)	(△ 9.7)	(△ 2.5)	(19.3)	(△ 6.8)
	官公需		2.5	△ 14.6	3.0	△ 2.3
	外需		△ 32.1	28.4	26.0	△ 5.2
	代理店		△ 17.0	1.6	6.4	8.0

- (注) 1. 見通しの計数は、各部門ごとの単純集計値に過去3期の平均達成率（季節調整値）を乗じて算出している。
 2. 個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値と一致しない。

第2図 需要者別機械受注の動向（季節調整系列、前期比）



(備考) 2020年10～12月期以前は実績値。

2. 需要者別見通しについて

(1) 需要者別見通し額（季節調整済系列）

2021年1～3月の機械受注見通し額（季節調整値）を前期比でみると、受注総額は2020年10～12月14.9%増の後、2021年1～3月には、4.8%減の見通しとなった（第1表）。

これを需要者別にみると、民需は2020年10～12月5.9%増の後、2021年1～3月には製造業（13.3%減）、非製造業（2.3%減）がともに減少するとみられることから、合計では5.0%減となる見通しになっている。このうち、「船舶・電力を除く民需」は2020年10～12月16.8%増の後、2021年1～3月には8.5%減となる見通しになっている。

機械受注の見通し額（季節調整済系列）は、単純集計値に過去3期の平均達成率（季節調整済）を乗じ、単純集計値の季節指数で除して求めている（「達成率」については後述）。

参考表 需要者別見通し額(季節調整値)の算出

	単純集計値	3期平均 達成率	原数値	季節指数	季節調整値
受注総額	7,627,767	98.8	7,534,815	112.5	6,696,129
民需	3,337,166	96.5	3,221,809	114.8	2,805,816
(船舶を除く)	3,307,218	96.2	3,182,030	115.0	2,768,062
(船舶・電力を除く)	2,790,819	93.4	2,606,516	109.7	2,375,211
製造業	1,181,378	86.8	1,025,644	108.9	941,608
非製造業	2,155,788	102.4	2,207,864	118.2	1,868,176
(船舶・電力を除く)	1,615,346	98.5	1,591,572	111.7	1,424,434
官公需	953,011	104.6	997,279	124.2	802,985
外需	2,971,675	100.9	2,997,320	109.1	2,747,166
代理店	365,915	97.9	358,059	103.2	346,861

(2) 需要者別見通し額（原系列）

2021年1～3月の機械受注見通し額について、単純集計値をみると、受注総額は7兆6,278億円であり、前年同期の実績に比べ、3.7%減となった（第2表）。

平均達成率調整後の見通し（原系列）をみると、受注総額では、2021年1～3月には前年同期比4.9%減となる見通しになっている。需要者別にみると、民需は、製造業（9.7%減）、非製造業（5.3%減）がともに減少するとみられることから、7.1%減となる見通しになっている。このうち、「船舶・電力を除く民需」は5.5%減となる見通しになっている。

第2表 需要者別見通し額（原系列）

（単位：100万円，%）

需要者		期	2020年	10～12月	2021年	(参考)
			(令和2年) 7～9月 実績		実績	
実 数	受注総額		6,055,336	6,626,648	7,534,815	7,627,767
	民需		2,709,763	2,760,674	3,221,809	3,337,166
	(船舶を除く)	(2,647,627)	(2,732,352)	(3,182,030)	(3,307,218)
	(船舶・電力を除く)	(2,233,633)	(2,412,068)	(2,606,516)	(2,790,819)
	製造業		932,024	1,036,603	1,025,644	1,181,378
	非製造業		1,777,739	1,724,071	2,207,864	2,155,788
	(船舶・電力を除く)	(1,305,880)	(1,380,020)	(1,591,572)	(1,615,346)
	官公需		796,185	708,370	997,279	953,011
	外需		2,243,962	2,823,957	2,997,320	2,971,675
	代理店		305,426	333,647	358,059	365,915
前 年 同 期 比	受注総額		△ 11.6	6.4	△ 4.9	△ 3.7
	民需		△ 14.9	△ 4.5	△ 7.1	△ 3.7
	(船舶を除く)	(△ 15.0)	(△ 3.3)	(△ 6.0)	(△ 2.3)
	(船舶・電力を除く)	(△ 14.1)	(1.2)	(△ 5.5)	(1.2)
	製造業		△ 15.0	0.8	△ 9.7	4.0
	非製造業		△ 14.8	△ 7.5	△ 5.3	△ 7.5
	(船舶・電力を除く)	(△ 13.4)	(1.4)	(△ 2.1)	(△ 0.7)
	官公需		6.6	14.6	△ 12.6	△ 16.5
	外需		△ 12.3	19.6	1.3	0.5
	代理店		△ 15.4	△ 7.1	1.1	3.3

(注) 見通しの計数は、各部門ごとの単純集計値に過去3期の平均達成率（季節調整値）を乗じて算出している。従って、各部門の合計値は受注額合計値と一致しない。

(3) 需要者別達成率の動向

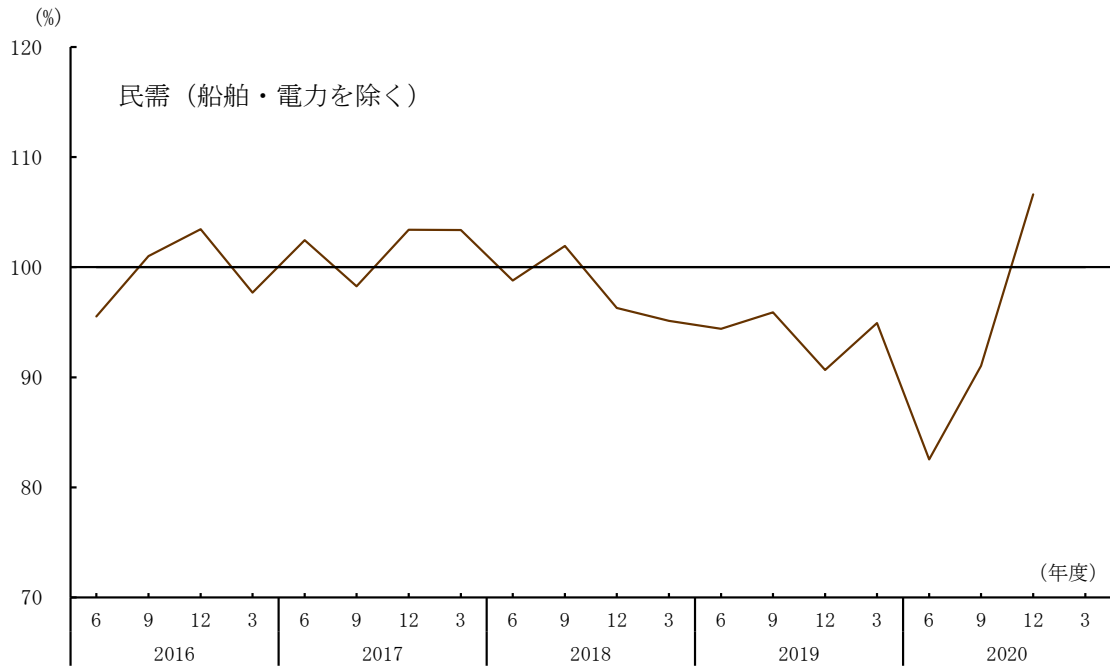
機械受注額の「見通し(単純集計値)」に対する「実績」の乖離を調整するために、両者の比を「達成率」として計算し、直近の3期平均達成率を見通しの「単純集計値」に乗じている。

最近における達成率(季節調整済)の動向は、第3図及び第3表のとおりである。

2020年10～12月の機械受注見通し達成率をみると、受注総額では115.4%と100%を上回り、7～9月の達成率と比べ15.0ポイント増加した(第3表)。

民需(103.0%)は同2.9ポイント増加、「船舶・電力を除く民需」(106.6%)は同15.6ポイント増加した。製造業(98.4%)は同11.2ポイント増加、「非製造業(船舶・電力を除く)」(113.5%)は同19.7ポイント増加した。

第3図 達成率（季節調整系列）



（備考）達成率(季節調整値)は、(実績(季節調整値)/見通し(単純集計値、季節調整値))で算出している。

第3表 需要者別達成率（季節調整系列）

（単位：％）

需要者	期	2020年 (令和2年) 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	3期平均
受注総額		96.8	80.5	100.4	115.4	98.8
民需		95.8	86.5	100.1	103.0	96.5
	(船舶を除く)	(93.7)	(86.8)	(96.2)	(105.7)	(96.2)
	(船舶・電力を除く)	(94.9)	(82.5)	(91.0)	(106.6)	(93.4)
製造業		89.0	74.9	87.2	98.4	86.8
非製造業		100.1	94.8	104.0	108.5	102.4
	(船舶・電力を除く)	(100.0)	(88.3)	(93.8)	(113.5)	(98.5)
官公需		133.9	100.6	93.6	119.7	104.6
外需		88.7	67.9	106.1	128.6	100.9
代理店		100.9	91.4	100.8	101.3	97.9

3期平均は2020年4～6月から10～12月までの3期の単純平均。

3. 機種別見通しについて

(1) 機種別見通し額

2021年1～3月の受注見通し（原系列）を機種別に前年同期比でみると、工作機械（7.5%増）、道路車両（5.9%増）及び電子・通信機械（5.9%増）で増加する見通しになっている。

反面、航空機（33.1%減）、鉄道車両（26.3%減）、船舶（24.3%減）、原動機（10.3%減）、重電機（4.4%減）及び産業機械（4.2%減）で減少する見通しになっている（第4表）。

第4表 機種別見通し額（原系列）

（単位：100万円，%）

機 種		期	2020年	10～12月	2021年	(参考)
			(令和2年) 7～9月 実 績		実 績	
実 数	原 動 機		510,062	473,013	782,114	709,235
	重 電 機		462,321	454,356	563,841	633,981
	電子・通信機械		2,029,909	2,388,659	2,702,914	2,567,095
	産 業 機 械		2,030,546	2,030,415	2,053,672	2,116,368
	工 作 機 械		169,739	202,191	204,633	220,654
	鉄 道 車 両		122,668	157,488	161,090	214,773
	道 路 車 両		300,875	329,135	386,364	369,259
	航 空 機		260,677	334,639	397,735	351,559
	船 舶		168,539	256,752	297,029	444,843
	合 計		6,055,336	6,626,648	7,495,341	7,627,767
前 年 同 期 比	原 動 機		△ 22.9	△ 19.0	△ 10.3	△ 18.7
	重 電 機		△ 11.7	△ 15.7	△ 4.4	7.5
	電子・通信機械		△ 14.1	14.0	5.9	0.6
	産 業 機 械		2.4	18.3	△ 4.2	△ 1.3
	工 作 機 械		△ 26.6	△ 2.0	7.5	15.9
	鉄 道 車 両		△ 33.1	△ 38.0	△ 26.3	△ 1.8
	道 路 車 両		△ 19.8	△ 8.4	5.9	1.2
	航 空 機		△ 21.7	52.3	△ 33.1	△ 40.8
	船 舶		△ 14.9	△ 0.3	△ 24.3	13.4
	合 計		△ 11.6	6.4	△ 5.4	△ 3.7

（注）見通しの計数は、各機種ごとの単純集計値に過去3期の平均達成率を乗じて算出している。従って、各機種の合計値は受注額合計値と一致しない。

(2) 機種別達成率の動向

2020年10～12月の機種別達成率をみると、航空機（209.6%）が前期と比べ131.3ポイント、船舶（106.1%）が同49.4ポイント、鉄道車両（108.7%）が同47.3ポイント、電子・通信機械（121.1%）が同20.5ポイント、産業機械（112.3%）が同9.0ポイント、工作機械（107.5%）が同8.1ポイント上昇した（第5表）。

反面、道路車両（101.8%）が同28.8ポイント、原動機（97.1%）が同27.5ポイント、重電機（92.9%）が同0.5ポイント低下した（第5表）。

第5表 機種別達成率

(単位：%)

	2019年 (令和元年) 10～12月	2020年 (令和2年) 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
原 動 機	73.5	104.4	109.1	124.6	97.1
重 電 機	99.6	97.7	80.5	93.4	92.9
電子・通信機械	98.8	105.9	94.2	100.6	121.1
産 業 機 械	77.6	92.5	75.5	103.3	112.3
工 作 機 械	84.3	80.2	71.3	99.4	107.5
鉄 道 車 両	106.0	60.9	54.9	61.4	108.7
道 路 車 両	100.9	94.1	81.5	130.6	101.8
航 空 機	81.0	115.6	51.5	78.3	209.6
船 舶	73.4	101.7	37.5	56.7	106.1
合 計	87.4	98.4	81.9	99.0	114.0

(注) 達成率は（実績（原数値）／見通し（単純集計値））で算出している。

第6表 機械受注見通し調査（2020年12月調査）
2021年1～3月受注見通し額集計結果表

（単位：100万円）

需要者別 \ 機種別	原 動 機	重 電 機	電子・通信機械	産 業 機 械	工 作 機 械	
受 注 総 額	709,235	633,981	2,567,095	2,116,368	220,654	受 計
民 需	488,861	351,934	1,243,935	900,444	92,600	民 計
製 造 業	187,626	78,730	341,360	447,146	91,188	製 計
非 製 造 業	301,235	273,204	902,575	453,298	1,412	非 計
内 電 力 業	268,341	197,311	32,273	18,451	0	電 力
官 公 需	23,801	81,014	444,669	152,256	29	官 計
外 需	196,497	107,515	856,562	938,826	124,755	海 外
代 理 店	76	93,518	21,929	124,842	3,270	代理店

需要者別 \ 機種別	鉄 道 車 両	道 路 車 両	航 空 機	船 舶	合 計	
受 注 総 額	214,773	369,259	351,559	444,843	7,627,767	受 計
民 需	151,174	54,826	23,444	29,948	3,337,166	民 計
製 造 業	6,691	606	22,126	5,905	1,181,378	製 計
非 製 造 業	144,483	54,220	1,318	24,043	2,155,788	非 計
内 電 力 業	23	0	0	0	516,399	電 力
官 公 需	20,288	2,759	144,192	84,003	953,011	官 計
外 需	42,985	189,720	183,923	330,892	2,971,675	海 外
代 理 店	326	121,954	0	0	365,915	代理店